

子どもたちの命と健康を守るために

ユニセフって、聞いたことありますか。世界中の子どもたちの命と未来のために活動しているところです。世界をみると、子どもたちの生活は、私たち日本のように恵まれた環境ばかりではありません。5歳の誕生日をむかえる前に命を失ってしまう子どもは一年間に690万人もいます。6700万人の子どもたちは小学校にも通えないそうです。

ユニセフは、世界中の子どもたちが、健康で幸せな生活を送ることを一番に願って活動しています。私たちはその活動を知り、募金をすることで、その活動を支えることができるのです。



提供：（公財）日本ユニセフ協会

そのユニセフから、日本の子どもたちにも健康な生活を送るための大切なプロジェクトを届けてくれました。

10月15日
世界手洗いの日

世界中の子どもたちがきちんと手を洗うことができれば、予防できる病気で命を落とすことができなくなり、100万人もの子どもたちの命を守れると言われているのです。

きれいな水と石けんで手を洗うことのできる私たちは、自分の健康を守るために、毎日しっかり手を洗いましょう。そして、こんなかんたんな手洗いさえもできないために、命を落とすことのある世界の子どもたちの現状を考えてみてください。

バイキンがする悪さ

知らないうちに手についたバイキンが、口や鼻、目などから体の中に入り、悪さをします。バイキンの病気を起こそうとする力に体が負けてしまったら、かぜやインフルエンザになったり、お腹が痛くなったりします。手を洗えばその多くの病気が防げるのです。



© UNICEF/HTIA2010-00586/Marco Dormino

Global Handwashing Day October 15

提供：
（公財）日本ユニセフ協会



© UNICEF/MLIA2010-00665/Asselin

こんな手洗いしてませんか？

●水でぬらすだけ



石けんつけて
あらおうね

●洗ったふいをする



●洗ったあとに、服でふく



ハンカチでふこう

洗ったふりではきれいに
ならないよね

●洗ったあと、てをふかない

ぬれている手は、よごれ
やすいよ。ハンカチで
ちゃんとふこうね

